

## 卒業生代表答辞



暖かい陽の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日は私たち卒業生のためにこのような卒業式を執り行なっていただき、誠にありがとうございます。学長瀬口和義先生並びに諸先生方に、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

私たちは今日、武庫川女子大学短期大学部での学生生活を終え、各々将来への第一歩を踏み出します。いざ卒業となりますと、新たな道に対する希望を抱くと共に一抹の寂しさも感じます。

振り返ってみますと、武庫川女子大学短期大学部に入学してからのこの二年間は、瞬く間に過ぎてしまいました。私にとってとても充実した、かけがえのない二年間になりました。

新型コロナウイルスの影響で、入学式が中止となり、オンライン授業から始まった大学生活は、入学前に思い描いていた大学生活とは全く異なるものでした。クラスに知り合いがいなかった私は、慣れないオンライン授業にとっても不安を感じていました。クラスメイトから後れを取らないために、半年間必死に過ごしていました。ここにいる卒業生の皆さんも私と同じように不安を感じながらも異例の日々を過ごしてきたのではないのでしょうか。それでも、各授業の担当の先生方が学生同士の繋がりを作ってください、だんだんと大学生活に慣れることができました。

半年後ようやく大学で授業が受けられるようになり、初めてクラスメイトに会いました。同じことに興味を持って集まった仲間だからこそ、新たな発見や様々な刺激があり、自分の世界が広がりました。その後も、オンライン授業に切り替わり苦勞したこともありましたが、企画や実習のグループ製作では班員とこまめに連絡を取り合い、そのときの状況に合わせて対応する力を身につけることができました。思うような大学生活が送れず、不安なことも、辛かったこともたくさんありましたが、コロナ禍を乗り越え、支え合い学んでこられたことを自信に、これからの人生を歩んでいきたいと思えます。

在学生の皆さん、武庫川女子大学短期大学部には皆さんが興味のある分野を追求し、学びを深めるための充実した施設、学生のことを親身になって考え、寄り添ってくれる先生方、そして同じ志を持ち支えあえる仲間がいます。この素晴らしい環境の中で、大学生活を通じて皆さん一人ひとりが抱えている夢を実現されることを願っています。

今日まで、武庫川女子大学短期大学部で充実した日々を送ることができたのは、未熟な私たちを励まし、ご指導くださいました学長瀬口和義先生をはじめとする諸先生方、様々な場面で私たちを支えてくださった職員の皆様のおかげです。心よりお礼申し上げます。また、このような状況でも、私たちが学び続けることができたのは、家族の支えがあったからです。今日まで私たちの学生生活を応援し、見守り続けてくれた家族に感謝し、それを返せるようにこれからの日々を過ごしていきます。そして、学生生活を共に過ごした仲間との思い出は決して忘れません。楽しいこと、辛いことを共に乗り越え、私に刺激的な毎日を送らせてくれた仲間に、改めて感謝の言葉を伝えます。

私たちはこれから武庫川女子大学短期大学部で過ごしてきた日々を胸に、それぞれの道へと進みます。自分の選んだ道に誇りを持った輝く女性になることをお誓いいたします。

最後になりましたが、武庫川女子大学短期大学部の一層のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、卒業生を代表してお礼とお別れのご挨拶とさせていただきます。

令和四年三月二十日

武庫川女子大学 短期大学部  
卒業生総代 生活造形学科  
井戸 穂香